

第4期
(2025年3月期)

中間株主通信

P.01 トップメッセージ

P.02 業績ハイライト

P.03 株主還元・政策保有株式の売却方針

P.04 グループ紹介

P.05 特集

2025年以降の株主通信につきまして

配当金のご案内と併せて株主の皆様へ年2回お届けしていました株主通信につきましては、その内容が決算短信や決算説明会資料、統合報告書、その他当社グループがウェブサイト上で公開している内容と重複していることに加え、紙資源の節減による環境配慮の観点から、2025年より期末については定時株主総会招集ご通知に合冊し、中間については廃止とさせていただきます。ご了承ください。

インフロニア・ホールディングス株式会社

証券コード: 5076



》はじめに

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年10月、前田建設、前田道路、前田製作所の経営統合により「インフロニア・ホールディングス」を設立してから3年が経ちました。これまでの「造る」「建てる」に捉われない自由な発想で、既成概念に挑み、より自由なインフラサービスを世界に広げたい。そうした思いから当社は立ち上がりました。

2024年1月には、風力発電事業のリーディングカンパニーである日本風力開発が当社グループに加わりました。新たな仲間とともに、インフラ運営の上流から下流までをワンストップでマネジメントする「総合インフラサービス企業」というこれまでにない新しい企業を目指し、挑戦を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

》中間期の業績と通期見通しについて

当中間期の業績は、売上高は前年同期比219億円(6.1%)増の3,807億円、事業利益は前年同期比91億円(38.6%)減の146億円となり、税引前中間利益は前年同期比114億円(47.0%)減の128億円となりました。また、親会社の所有者に帰属する中間利益については、前年同期比82億円(50.4%)減の81億円となりました。前年同期比で増収減益であり、土木事業において前年中間期に計上した大型の設計変更獲得による利益の反動減などが影響しておりますが、通期計画に対して各セグメントの業績は順調に推移しております。

通期の業績は、売上高は8,399億円(前期比5.9%増)、事業利益は590億円(前期比14.6%増)、営業利益は590億円(前期比15.6%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は384億円(前期比17.9%増)を見込んでおります。

建築事業では、期末にかけて大型アリーナや再開発案件といった大型工事が完成を迎えることにより、売上総利益が過去最高の320億円以上となり、土木事業でも高水準の利益率を維持する見込みです。舗装事業では、受注時利益率の改善や原材料費高騰の適切な価格転嫁が進捗し、売上高及び売上総利益が直近3年で最高額となる見込みです。インフラ運営事業では、前期に見送った再生可能エネルギー案件及び開発案件の売却を予定しており、通期計画を達成する見込みです。機械事業については、クローラークレーン等を中心に自社製品の販売が堅調に推移し、増収増益となる見込みです。

》株主還元について

当期の中間配当金につきましては、予定通り1株当たり30円とすることを決定しております。配当金の詳細は3頁をご覧ください。

2025年3月期中間期の連結業績

売上高 **3,807** 億円

事業利益 **146** 億円

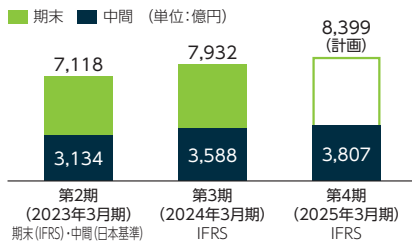
税引前利益 **128** 億円

親会社の所有者に
帰属する中間利益 **81** 億円

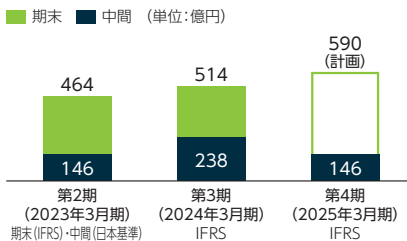
決算のポイント

- 当中間期は前年同期比で増収減益となりましたが、各セグメントの業績は順調に進捗しており、通期計画を達成する見込みです。
- 事業利益、当期利益ともに通期で過去最高額を見込んでおります。

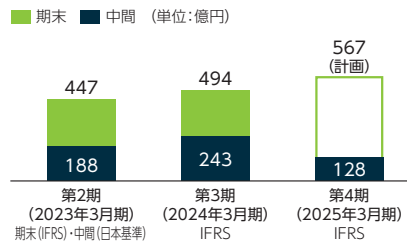
売上高



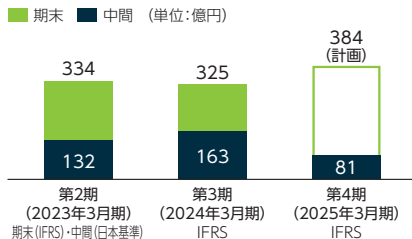
事業利益(営業利益)



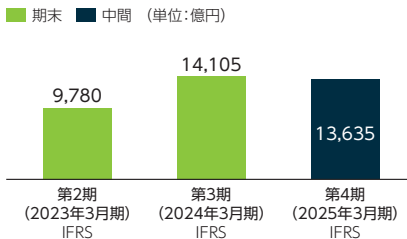
税引前利益 (税金等調整前当期純利益)



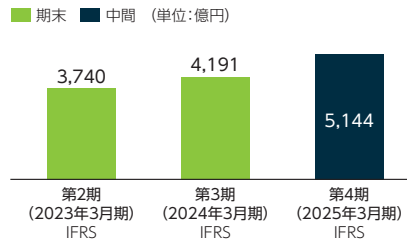
親会社の所有者に帰属する当期利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)



資産合計



資本合計



※ 第3期の通期決算よりIFRSを適用しております。また、ご参考までに第2期末及び第3期中間についても、IFRSに準拠した数値を表示しております。

※ 事業利益は、売上高から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除し、持分法による投資損益を加えた、当社の経常的な事業の業績を測る利益指標です。

詳しい財務情報は当社IRサイトよりご覧いただけます
<https://www.infroneer.com/ir/>



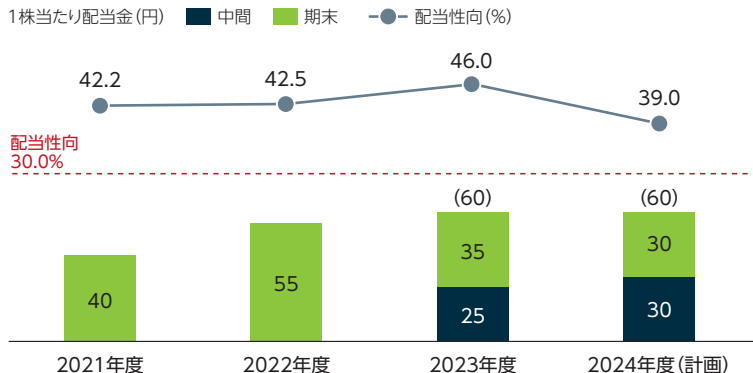
》株主還元

当社は、株主の皆様に対する利益の還元を経営上の重要な施策の一つとして位置付けており、中期経営計画『INFRONEER Medium-term Vision 2024』の還元方針に基づき、自己株式の取得を行うほか、配当性向30%以上の配当に努めることを基本方針としています。

配当金について

第4期の普通株式の配当金については、通期で1株当たり60円(中間配当金30円、期末配当金30円)を予定しています。そのうち中間配当金については、予定通り1株当たり30円とし、支払開始日は2024年12月10日とすることを決定しています。

※ 配当性向の算定に使用した財務数値は、2021年度は日本基準、2022年度以降は国際財務報告基準(IFRS)に準拠しています。



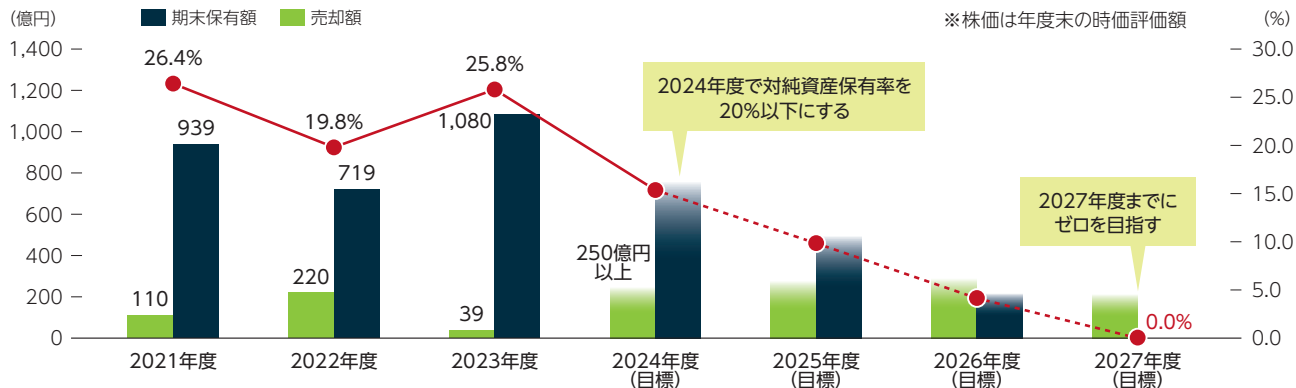
》政策保有株式の売却方針

政策保有株式の売却方針

今期目標 前田建設保有分を250億円以上売却(対純資産保有率を20%以下に)
最終目標 2027年度までにインフロニアグループ全体でゼロとする

売却による資金の分配方針

財務規律と資本効率を意識した分配を実施
➡具体的な分配方針は次期中期経営計画までに決定次第公表



》グループ紹介

当社グループは当社、前田建設、前田道路、前田製作所及び日本風力開発をはじめとする149社(2024年9月30日現在)で構成され、建築事業、土木事業、舗装事業、機械事業及びインフラ運営事業を主な事業としています。

当社グループ各社の総力を結集し、「総合インフラサービス企業」として更なる発展を目指します。

建築・土木・ インフラ運営事業



前田建設工業株式会社

従来の建設請負業で培った技術を最大限に活かし、再生可能エネルギー施設や道路、上下水道、空港、港湾、MICE施設等の様々なインフラ分野の運営・維持管理にも挑戦し、これまでわが国になかった新しい社会的価値を生み出します。



舗装事業

前田道路株式会社

「ひろく社会資本の整備に貢献し、地域社会の豊かな生活の向上に寄与することを企業活動の使命と自覚する」ことを経営理念に掲げ、これまでの「道路建設や生活に直結した身近にある小さな工事」と「アスファルト合材の供給」という強みをベースに、多様化する地域の健全なインフラ形成に貢献してまいります。

インフラの未来に挑む



INFRONEER Holdings Inc.

インフラ運営事業



日本風力開発株式会社

そのポテンシャルにますます注目が高まるクリーンエネルギーである「風力」。風力発電所の開発から運転保守、維持管理までを一気通貫で手掛けていることを強みに、地域と共生して未来をともに創る風力発電プロジェクトを推進します。



機械事業

株式会社前田製作所

建設機械・産業機械などの製造・販売・サービス・レンタルを通じて、土木・建設業界を中心に現場の機械化・省力化・安全化を支え、オンリーワンの技術力でより豊かな社会づくりに貢献してまいります。

当社グループの事業内容と主要なグループ会社はこちらから

<https://www.infroneer.com/jp/company/ourbusiness.html>



「B.LEAGUE イノベーションパートナー」にインフロニアが就任

B.LEAGUEとのパートナーシップの締結

当社は、公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ（以下、B.LEAGUE）の「B.LEAGUE イノベーションパートナー」に就任しました。

B.LEAGUEは、バスケットボールを通じた地域課題解決や地域活性、クラブ・アリーナを軸とした地域の発展を目指し、2026年に向けた「B.革新」を全国のクラブとともに推進しています。地域ごとのインフラを取り巻く社会課題解決に向けた当社のビジョン・事業・取り組みとの親和性を両方で認識し、パートナーシップを締結しました。



B.LEAGUE概要

名称：公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ
所在地：東京都文京区後楽1-7-27 後楽鹿島ビル6F
チェアマン（代表理事CEO）：島田 慎二
設立：2015年4月1日
主要な事業：プロバスケットボールを通じた日本におけるバスケットボールの競技力の向上及びバスケットボールの普及

B.LEAGUEとの協創により目指すこと

本パートナーシップにより、B.LEAGUEの地域密着・ファンコミュニティ構築に関するネットワークと当社のコンセッション事業を始めとする官民連携・インフラビジネスのノウハウを活かすことが可能となります。

それにより、両者の事業・取り組みの拡大・加速とともに、スポーツ界の先駆けとなる、「バスケットボールとインフラを起点とした地方創生に寄与する取組み」を確立し、地域・市民とともに新たなインフラマネジメントの構築と日本のスポーツ界全体にインパクトを与えるイノベーションを起こすことを目指しています。

「スポーツとインフラによる地方創生」をテーマとしたブランドムービーを当社HPで公開しています。



ーバスケットボールとインフラを起点とした地方創生に寄与する取り組みー

来て、見て、触って、親子で初めてのアリーナ『INFRONEER B.Hi TOUCH』を開催中！

2024年10月13日～12月31日の期間中、B.LEAGUEとともに親子で楽しめるイベント『INFRONEER B.Hi TOUCH』（以下、本イベント）を日本全国のクラブ主催試合の会場で開催しています。

「バスケとインフラでハイタッチ！」をテーマに、バスケットボールを楽しみながら、生活に欠かせないインフラ・インフラサービスについても身近に感じ、学べる、参加型イベントです。期間中全国16会場で行われる当社冠試合では、前田製作所の建設機械を用いた親子バスケット体験「かにクレーンバスケ」や、前田道路の補修材「マイルドパッチ」を使用したアスファルトの補修体験「ロードキーパー」等のイベントを実施しています。

INFRONEER B.Hi TOUCH公式サイト：<https://www.bleague.jp/b-hi-touch/2024>



©SAGA BALLOONERS



©SAGA BALLOONERS



INFRONEER B.Hi TOUCHのPR動画を公開しています。



バスケインフラリーグ (BIリーグ)

BIリーグは、クラブとファン・市民が一体となって、バスケットボールやクラブがある地域を支え、盛り上げることを目指す参加型競技（ゲーム）です。「バスケットボールリーグ部門 (B.LEAGUE)」と「インフラリーグ部門」の2部門の順位を合算して「BIリーグ」の総合優勝クラブが決定されます。

インフラリーグでは、今シーズンはファン・市民が地域の「バスケットゴール」を撮影・SNSへ投稿したことで得るポイントを競います。投稿された情報を基にバスケットボールに関連するインフラを把握・見える化し、今後の地域のバスケットボール関係人口の増進や地域活性化に繋がります。将来は、このような市民参加とデジタルを活用した取り組みを通じて、バスケットボール施設だけでなく、インフラの老朽化など地域ごとの社会課題をいち早く発見、解決するとともに、地域の魅力を高める仕組みの構築を目指しています。

BIリーグ特設サイト：<https://www.infoinf.com/jp/collect/bi-league.html>

「国立競技場運営事業等」において特別目的会社（SPC）を設立 ーインフラ運営事業（コンセッション）ー

2024年9月3日、(株)NTTドコモを代表企業とし、前田建設、SMFLみらいパートナーズ(株)、(公社)日本プロサッカーリーグの4社が構成企業として参画するコンソーシアムが、(株)ジャパンナショナルスタジアム・エンターテインメント(以下、JNSE)を設立しました。

JNSEは、国立競技場が元来持つアクセスの良さやキャパシティー等の優位性と、国内外の有名アーティストの興行誘致やVIPルーム・プレミアムシートの拡張などJNSEがもたらす新たな価値をかけあわせ、国立競技場を世界トップレベルのナショナルスタジアムとすることを目指し、国立競技場を起点とした日本のスポーツ文化の改革を推進してまいります。

【事業イメージ図】 ※イメージのため、今後変更になることがございます。



リボンビジョン



VIPルーム



グループ席



大洲バイオマス発電所(愛媛県大洲市)

大洲バイオマス発電所が営業開始 ーインフラ運営事業(再生可能エネルギー)ー

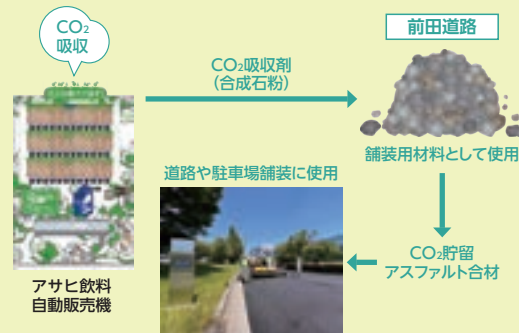
2024年8月1日、前田建設を含む4社が出資を行う大洲バイオマス発電所の建設工事が完了し、営業運転を開始しました。本発電所は、木質ペレット*を燃料に使用するバイオマス専焼火力発電所であり、年間発電量は約3.5億kWhと約7万世帯分の電力を供給できる発電施設となります。天候に左右されず、安定的に再生可能エネルギーを生み出し続ける施設として、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

※森林保全の過程で生じる間伐材等の木材を破砕し、円柱状に固めてつくられる固形燃料です。

身近なインフラを活用したCO₂固定化の取り組み ー舗装事業ー

前田道路とアサヒ飲料(株)は、大気中の二酸化炭素(CO₂)を資材化させたものをアスファルト舗装用材料として活用する研究に取り組んでいます。アサヒ飲料(株)の自動販売機に設置したCO₂吸収材を前田道路が引き取り、CO₂貯留アスファルト合材として道路や駐車場の舗装に活用します。2024年3月に室内検証を終え、2024年5月にはアサヒ飲料(株)の研究施設内の道路で試験施工を行い、施工性や耐久性の検証を行っています。本取り組みを通じて当社グループは、脱炭素な資源循環型社会の実現に向けて積極的に貢献してまいります。

【CO₂資源循環のイメージ図】



クローラクレーン「CC985S-3」「CC1485S-3」を新発売 ー機械事業ー

2024年9月1日、前田製作所の主力製品であり、都市土木や狭所現場等で活躍するクローラクレーンにおいて、従来機のモデルチェンジとなる「CC985S-3」「CC1485S-3」を発売しました。キャビン天窓の大窓化による上方視界確保のほか、安全機能の豊富なオプション設定等による作業快適性・安全性の向上を実現しています。

今後もマーケットシェア拡大に向け、ラインナップの拡充や品質向上に取り組めます。

ESG投資指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定

ロンドン証券取引所グループ傘下のFTSE Russell社が開発した世界的なESG投資指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄にインフロニア・ホールディングスが選定されました。各セクターにおいて相対的に、ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みに優れた日本企業のうち、脱炭素経済への移行を促進するため、GHG排出量改善の取り組みが評価された企業のみが組み入れられたインデックスであり、世界最大規模の年金運用機関である GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）においてもESG指数として採用されています。また、同じく GPIF が採用している指数である「MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数」にも選定されており、2024年のMSCI ESGレーティングにおいては「A」評価を獲得しています。



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

当社のサステナビリティに関する情報はこちらから

<https://www.infroneer.com/jp/sustainability/>



会社概要				
商号	インフロニア・ホールディングス株式会社 (英文名 INFRONEER Holdings Inc.)			
本社所在地	東京都千代田区富士見二丁目10番2号			
設立	2021年10月1日			
資本金	200億円			
事業内容	インフラの企画提案、設計、建設、運営・維持管理までのあらゆる建設サービスの提供及び建設（土木、建築）、舗装及び建設機械の製造・販売等を営む傘下子会社及びグループの経営管理並びにこれに付帯または関連する一切の事業			

取締役/執行役				
取締役/代表執行役社長兼CEO	岐部	一誠	執行役/総合インフラサービス戦略担当	中西 隆夫
取締役会長	前田	操治	執行役/経営企画担当、IT・DX戦略担当	幡鎌 裕二
取締役	今泉	保彦	執行役/グループマネジメント担当	加藤 保雄
取締役	塩入	正章	執行役/人材戦略担当、サステナビリティ推進担当	富安 敏明
取締役(社外)/取締役会議長/監査委員長	橋本	圭一郎	執行役/財務戦略担当	下條 真
取締役(社外)	米倉	誠一郎		
取締役(社外)/指名委員長	森谷	浩一		
取締役(社外)	村山	利栄		
取締役(社外)/報酬委員長	高木	敦		

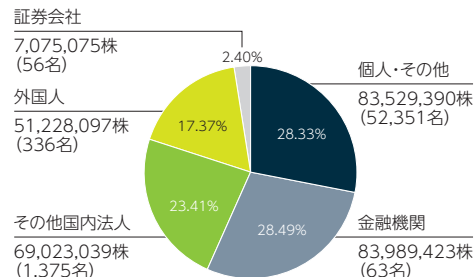
株主名	持株数(千株)			持株比率(%)
	普通株式	第1回社債型種類株式	合計	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	35,741	－	35,741	12.71
光が丘興産株式会社	26,274	－	26,274	9.34
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	16,364	－	16,364	5.82
インフロニア・ホールディングス社員持株会	9,074	－	9,074	3.23
住友不動産株式会社	8,695	－	8,695	3.09
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	7,260	－	7,260	2.58
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	5,416	－	5,416	1.93
株式会社三井住友銀行	3,061	－	3,061	1.09
株式会社みずほ銀行	3,002	－	3,002	1.07
前田建設工業取引先持株会	2,982	－	2,982	1.06

※1 当社は自己株式(普通株式13,675,900株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
※2 持株比率は自己株式(普通株式13,675,900株)を控除して計算しております。
※3 当社は2024年8月1日に第1回社債型種類株式を20,000,000株発行し、2024年8月2日付で東京証券取引所プライム市場に上場しました。

株式の状況

発行可能株式総数		1,200,000,000株
発行済株式総数 (自己株式を含む)	普通株式	274,845,024株
	第1回社債型種類株式	20,000,000株
株主数	普通株式	31,578名
	第1回社債型種類株式	22,603名

所有者別 株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
公告方法	当社のホームページ(https://www.infroneer.com)に掲載します。 但し、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
お問い合わせ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ホームページ: https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

証券会社をご利用の場合、住所変更や買取請求はご利用の証券会社にお問い合わせください。未払配当金のお支払い、株式配当金支払明細書の発行に関するお手続きまたは特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記みずほ信託銀行にお問い合わせください。

配当金を「配当金領収証」と引き換えにお受け取りの株主様へ

配当金を株主様がお持ちの銀行口座や証券口座へ入金する方法を選択いただきますと、最短で配当金支払開始日に株主様のご指定口座に振り込まれ、迅速かつ安全・確実に配当金をお受け取りいただくことができます。株主様のご希望に応じてご検討いただきまして、配当金のお受け取り方法の変更をご希望される株主様は、下記お問い合わせ先にご連絡ください。

<お問い合わせ先>

- ・証券会社の口座で株式を保有されている株主様: お取引のある証券会社
- ・上記以外の株主様 (特別口座の株主様): みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

Webサイト・SNSのご紹介

Webサイト

ニュースリリースやIR情報のほか、社長の岐部によるブログなど、様々なコンテンツを掲載しています。



<https://www.infroneer.com/>

インフロニア

検索



FaceBook

「インフラで解決できること」をテーマにインフロニアグループの取り組みや情報を発信しています。

<https://www.facebook.com/infroneer.hd/>



Instagram

インフロニアグループに関わる様々な場面を切り取った写真とともに、情報を発信しています。

<https://www.instagram.com/infroneer.hd/>



統合報告書2024の発行について

当社は2024年9月、「統合報告書2024～社会と共に価値を創り、未来を拓く、インフロニアの挑戦～」を発行しました。本書を通じて、インフロニアが目指す未来、持続的な価値創造プロセス、地域・社会への価値提供についてご理解いただくこと、さらには「ともにインフラの未来に挑む」ステークホルダーの皆様との関係性強化を目的としています。ぜひ一読ください。



https://www.infroneer.com/jp/sustainability/integrated_report/



株主様アンケートご協力のお願い

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただきます。WEBアンケートを実施いたします。お手数ではございますが、ご協力をお願いいたします。

2025年1月17日(金)締切

ご回答いただいた方の中から抽選で、

200名様に**電子ギフト500円分**をプレゼントいたします。

当選者の発表は当選メール配信をもって代えさせていただきます。
(2025年2月配信予定)

アクセス方法

PCから 下記のURLからアクセスください。

<https://q.srdb.jp/>

アクセスコード

スマートフォン・携帯電話から

右のQRコードからアンケート画面へアクセスいただけます。

※機種により使用できない場合がございます。

QR